

# アウトラインを活用した文章作成

---

東京大学 大学院工学系研究科  
大学総合教育研究センター  
吉田 壘

2021年8月2日

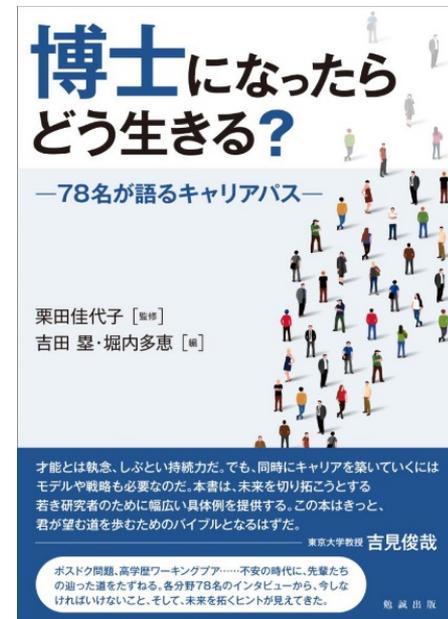
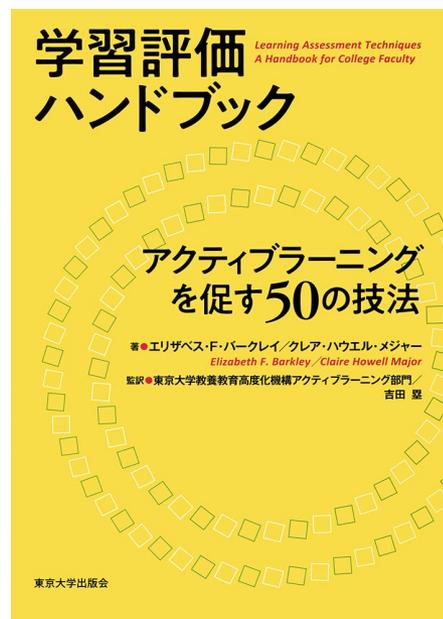
# 自己紹介 ～吉田壘～

- 東京大学 大学院工学系研究科 准教授
- 東京大学 大学総合教育研究センター 高等教育部門長
  - 教育工学 (EdTech、ファカルティ・ディベロップメント)
  - オンライン教育の支援 (ポータルサイト)

- 東京大学フューチャー  
ファカルティプログラム  
(FFP) 1期生

- 授業の面白さに感動
- キャリアチェンジを決意

- [研究室 HP](#)



- Slido
  - 匿名で質問できる Web サービス
  - 教員から学生に質問をすることも可能
- 学生の使い方
  - <https://sli.do> へアクセスして ID を入力して部屋に入る
- 教員の使い方
  - アカウントを作成する（無料アカウントあり）
  - 質問部屋を作成し、ID をメモしておく
  - ID を伝え、適宜質問に答える / 質問を投稿する



# ワークショップの目的・目標

---

- 目的

- より良い文章作成をするために、アウトライン思考法を学び、活用できるようにする

- 目標

- アウトライン思考法とは何かについて説明できる
- アウトラインを作成する際のポイントを説明できる
- アウトライン思考法を実践する

# 目次

---

- アウトライン思考法
- 自己紹介ワーク
- 文章作成ワーク
- おわりに

# アウトライン思考法

---

# アウトライン思考法とは

---

# 用語説明

---

# おすすめのソフトウェア

---

# Google ドキュメントの使い方

---

# アウトラインを作るポイント

---

- 心構え

- 文章作成中にアウトラインが変わることを許容する

- 目的の明確化

- 文章を通して何を伝えたいのかを明確にする

- 要素の作成

- 伝える上で重要な要素を挙げて、流れを作る
- 親要素の詳細な説明になるように子要素を作る
- 具体的に文章やスライドがイメージできるレベルまで書く
- 要素間のつながりがスムーズか確認する

- 心構え
  - 文章作成中にアウトラインが変わることを許容する
- 目的の明確化
  - 文章を通して何を伝えたいのかを明確にする
- 要素の作成
  - 伝える上で重要な要素を挙げて、流れを作る
  - 親要素の詳細な説明になるように子要素を作る
  - 具体的に文章やスライドがイメージできるレベルまで書く
  - 要素間のつながりがスムーズか確認する

# 目的の明確化

---

- 心構え
  - 文章作成中にアウトラインが変わることを許容する
- 目的の明確化
  - 文章を通して何を伝えたいのかを明確にする
- 要素の作成
  - 伝える上で重要な要素を挙げて、流れを作る
  - 親要素の詳細な説明になるように子要素を作る
  - 具体的に文章やスライドがイメージできるレベルまで書く
  - 要素間のつながりがスムーズか確認する

# 要素の作成①

- 心構え
  - 文章作成中にアウトラインが変わることを許容する
- 目的の明確化
  - 文章を通して何を伝えたいのかを明確にする
- 要素の作成
  - 伝える上で重要な要素を挙げて、流れを作る
  - 親要素の詳細な説明になるように子要素を作る
  - 具体的に文章やスライドがイメージできるレベルまで書く
  - 要素間のつながりがスムーズか確認する

# 要素の作成②

- 心構え
  - 文章作成中にアウトラインが変わることを許容する
- 目的の明確化
  - 文章を通して何を伝えたいのかを明確にする
- 要素の作成
  - 伝える上で重要な要素を挙げて、流れを作る
  - 親要素の詳細な説明になるように子要素を作る
  - 具体的に文章やスライドがイメージできるレベルまで書く
  - 要素間のつながりがスムーズか確認する

# 要素の作成③

- 心構え
  - 文章作成中にアウトラインが変わることを許容する
- 目的の明確化
  - 文章を通して何を伝えたいのかを明確にする
- 要素の作成
  - 伝える上で重要な要素を挙げて、流れを作る
  - 親要素の詳細な説明になるように子要素を作る
  - 具体的に文章やスライドがイメージできるレベルまで書く
  - 要素間のつながりがスムーズか確認する

# 要素の作成④

- 心構え
  - 文章作成中にアウトラインが変わることを許容する
- 目的の明確化
  - 文章を通して何を伝えたいのかを明確にする
- 要素の作成
  - 伝える上で重要な要素を挙げて、流れを作る
  - 親要素の詳細な説明になるように子要素を作る
  - 具体的に文章やスライドがイメージできるレベルまで書く
  - 要素間のつながりがスムーズか確認する

# 自己紹介

---

# 自己紹介

---

- (個人) これまでの感想・疑問を考える (2分)
  - 学んだこと, 疑問に思ったことなど
- (グループ) 自己紹介する (1分30秒×4人)
  - 所属, 名前, これまでの感想・疑問など共有する
  - 時間が余ったら, 雑談 OK (趣味や休日の過ごし方?)
- (全体) 共有する

# 文章作成ワーク

---

# 文章作成ワーク①

---

- テーマ

- 自己紹介文
- 文字数は200字程度
- 自己紹介する相手は自分で設定
  - 例: これまでに面識のなかった他のサポーター

- ワーク

- (個人) 文章のアウトラインを作る (10分)
  - Google ドキュメントに書く
- (グループ) 共有・議論する (10分)
  - 疑問があったらまとめておく
- (全体) 共有する
- (個人) 文章を書く (10分)

# 文章作成ワーク① アウトライン例

---

- 相手
  - 東大の初回授業（EdTech）の冒頭で、初めて会う学生
- アウトライン
  - 自分の基本情報
    - 名前
    - 所属
    - 出身学部
      - 理科一類 → 工学部 → 新領域創成科学研究科
  - この授業をしようと思ったきっかけ
    - 自分の研究分野について知ってもらいたい
    - 幅広い学生と交流したい
  - この授業を通して学んでほしいこと
    - ラピッドプロトタイピング
    - 体験を通じた自律的に考えて実行することの重要性

# 文章作成ワーク②

## • テーマ

- 会社のエントリーシートの中の志望理由欄に何を書く？
- 文字数は400字程度
- 対象はどこでも OK（特になければWebメディアの会社）

## • ワーク

- （個人）文章のアウトライン（大枠）を作る（3分）
- 最も親の要素を作る（大枠を作る）
- Google ドキュメントに書く
- （全体）共有する
- （個人）文章のアウトライン（詳細）を作る（10分）
- （グループ）共有・議論する（10分）
- （全体）共有する

おわりに

---

# まとめ

---